境内の音景

働く場を変えると、聞こえてくる音が変わる

働く場を変えると、
聞こえてくる音が変わる。
境内は、豊かな音であふれている。
仏教の根本にある
「色即是空」という教理は
形ある実態は存在せず、
時々刻々と変化しているという
考え方である。
「働く場」と聞いて
まず私たちが思い浮かべるのは
「オフィス空間」という実態、
すなわち「色」である。
しかし、
「働く場」を作り出している音環境
「空」を変えることで、
働く場が変わるのではないだろうか。
境内に静かに響く音を採集し
聞こえてくるを変えることで
働く場を変える
境内ワーケーションを提案する。

本提案では、働く場の質が音環境にあるとし、境内に見られる音環境を発見・拡張しようと試みています。音環境という枠組みで境内をみたとき、寺、神社という区別でみるよりも、「寺社仏閣の境内」という広義の環境を捉えることで、何処の境内でも広く汎用していけるアイデアとなると考えました。そのような経緯から、寺社、神社各々の特徴を併せ持った神仏習合型の境内を表現しております。
また、仏教が伝来して神道と習合したように、境内にワーケーションという考えが導入され新たな風景を生み出すことも期待して表現おります。